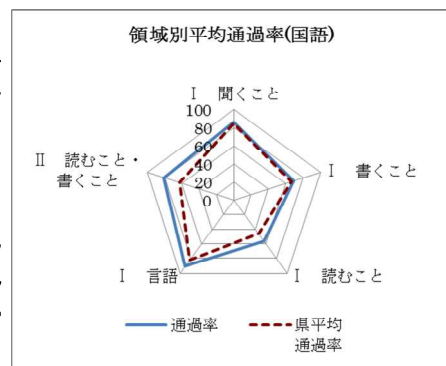
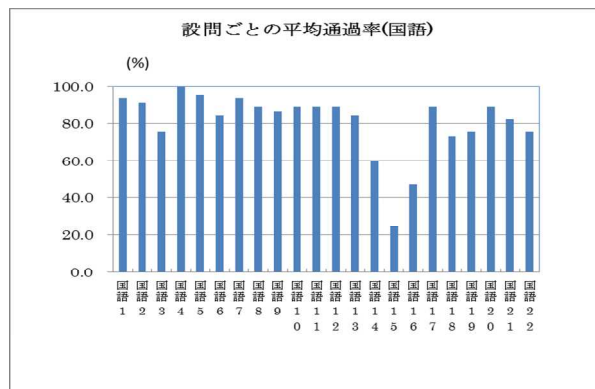


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率（本校 80.7%，県 71.8%）

領域別平均通過率



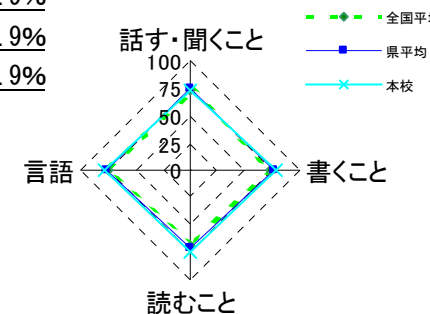
設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率

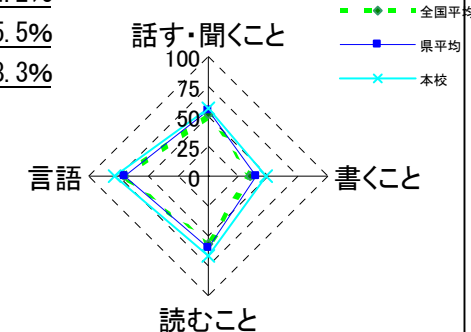
A問題

本校 77.9%
 全国 72.9%
 県 75.9%



B問題

本校 64.2%
 全国 55.5%
 県 58.3%



調査結果のうち顕著な課題

◎「基礎・基本」◇全国学力

- ◎「読むこと」の領域において、中心となる語や文を把握し、要旨をとらえて書く問題に課題がある。（通過率 24.4%）
- ◇「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において、故事成語の使い方として適切なものを選択する問題<五十歩百歩>に課題がある。（通過率 46.7%）

指導上の課題

- 国語の授業では、話の中心を抑えて読んだり、文章の内容や構成を把握させたりする場面を十分に設けていなかった。また、文章の要旨を自分の言葉でまとめさせる活動も不十分であることが原因と考える。
- ◇授業において、意味がわからない言葉や読めない字を調べさせたり、言語事項の（ことわざ、故事成語等）学習が不十分であったりすることが原因と考える。

児童の課題・指導上の課題改善のための日常的な取組み

～授業において～

- 説明的な文章を読む際は、指示語や接続語、文末表現に注意して読ませる。また、中心となる言葉や文に注目して要点をまとめたり、小見出しをつけたりするなどして、内容を整理させる時間を設定する。小見出しをつける活動では、文字数や表現様式など、様々な条件を設定して、書き換え、推敲する活動を充実させるようにする。
- 「話すこと・聞くこと・読むこと」の基盤である「言語事項」の語彙力の不足が課題である。日常の授業の中や言語事項（漢字・熟語・ことわざ・慣用句・故事成語・文法など）の指導をドリルタイムの中で繰り返し行う。また、「日記蔵王」に積極的に活用し書く力をつける。読み聞かせや多くの図書に触れさせたりすることで、児童の言語を豊かにする。

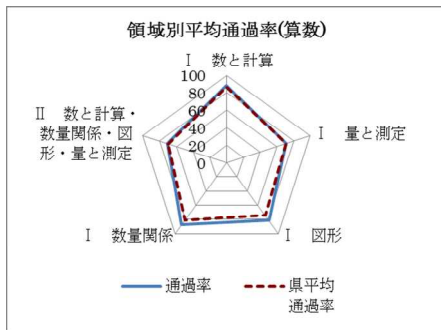
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
実施スケジュール	PLAN	DO		CHECK			PLAN	DO		
	課題把握 授業改善計画作成	授業改善実施 授業研究		4年5年 単元テスト	「基礎・基本」定着状況調査（4年） 福山市調査問題 CRTテスト	「全国学力・学習状況調査」（5年） 福山市調査問題	課題把握 授業改善計画作成	授業改善実施		

検証

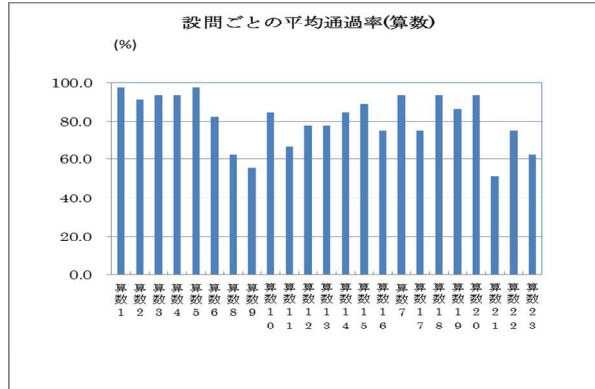
○時期：平成26年12月 27年1月2月 ○方法：単元テスト（4年5年）「基礎・基本」定着状況調査、（4年）「全国学力・学習状況調査」（5年）福山市調査問題 ○目標：通過率80%以上 ○結果：

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率（本校 80.9%，県 78.0%）

領域別平均通過率



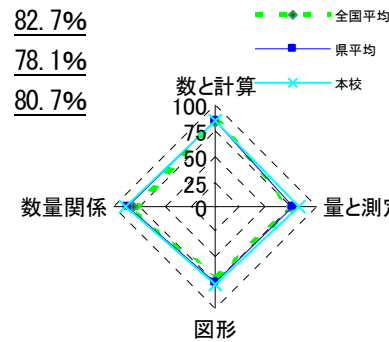
設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率

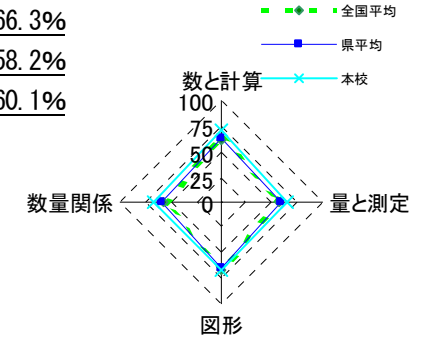
A問題

本校 82.7%
全国 78.1%
県 80.7%



B問題

本校 66.3%
全国 58.2%
県 60.1%



調査結果のうち顕著な課題
◎「基礎・基本」◇全国学力

- ◎数量関係の式で表し、給食当番をする週の求め方の説明に課題がある。(51.1%)
- ◎教科書の面積を、量感をもとに考えることに課題がある。(通過率55.6%)
- ◇平行四辺形のどの性質を用いて作図したのかをとらえるのに課題がある。(通過率57.8%)
- ◇示された情報を基に、条件に合う時間を求めることに課題がある。(通過率40.0%)

指導上の課題

- 数式の意味の理解に課題があると考えます。
- 面積の公式だけでなく、実際に図る、比べるなどして、量感をとらえさせる必要があると考えます。
- 平行四辺形の定義と性質を正確にとらえておらず、作図して実感をとませる指導が不十分であったと考えます。
- 文章や図で描かれている情報の読み取りや時間の計算が不十分であると考えます。

児童の課題・指導上の課題改善のための日常的な取組み
～授業において～

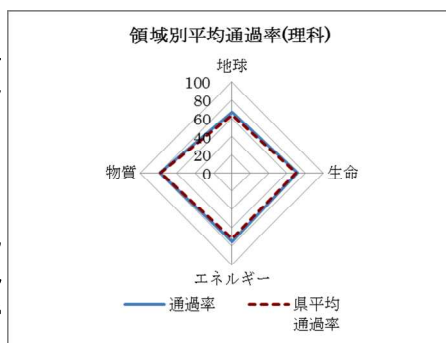
- 生活での問題場面を図や表で表すことで、問題の意味の意味を深めさせる。プリント学習や家庭学習において応用問題に取り組み、多くの情報の中から、必要な情報だけを取り出すことができるようにする。
- 量感をとらえさせるために、身の回りのものの面積を予想して、計測させる活動を充実させる。長さを計る学習においても、まず、予想をして計測する活動を続けていく。
- 正方形、長方形、平行四辺形など、それぞれの名前を覚えるだけでなく、定義と性質を確実に理解させいろいろな方法で図形を描かせ、実感を伴わせる指導を行う。コンパスや三角定規の扱いになれさせる。
- 取り出したい必要な情報に線を引いたり、図を描いたりする活動をし、確実にとらえさせていく。時刻と時間の違いを理解させる。

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
実施スケジュール	PLAN	DO		CHECK			PLAN ACTION	DO		
	課題把握 授業改善計画作成	授業改善実施 授業研究		4年5年 単元テスト	「基礎・基本」定着状況調査、(4年) 福山市調査問題 CRTテスト	「全国学力・学習状況調査」(5年) 福山市調査問題	課題把握 授業改善計画作成	授業改善実施		

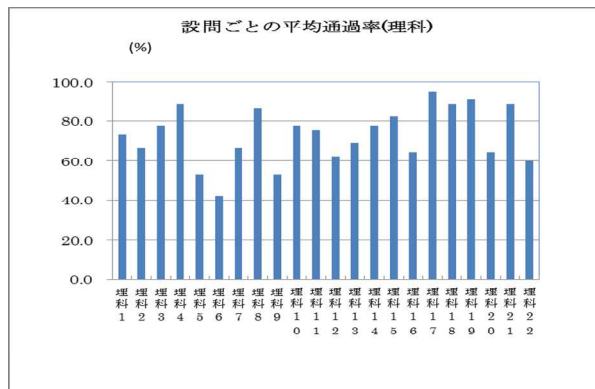
検証 ○時期：平成26年12月 27年 1月 2月 ○方法：単元テスト（4年5年）「基礎・基本」定着状況調査、(4年)「全国学力・学習状況調査」(5年) 福山市調査問題 ○目標：通過率80%以上 結果：

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率（本校 73.0%, 県 70.6%）

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率

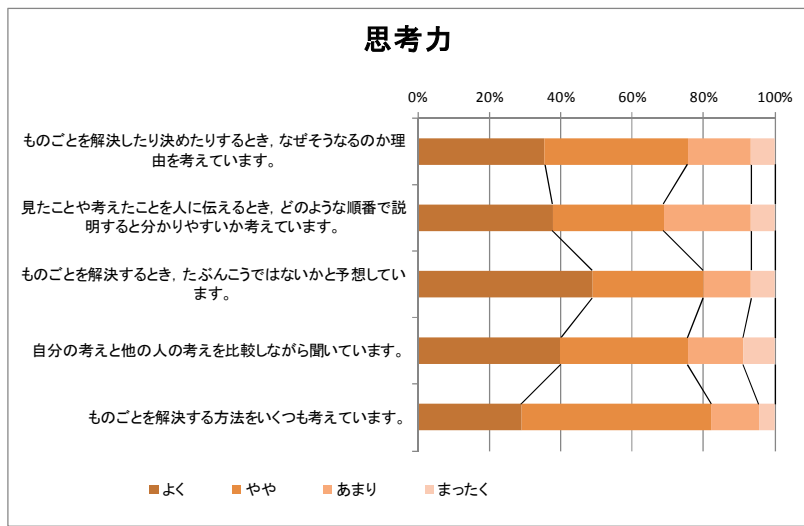


調査結果のうち顕著な課題 ◎「基礎・基本」	指導上の課題	児童の課題・指導上の課題改善のための日常的な取組み ～授業において～
<p>◎正午のぼうのかげができる方位を答えることに課題がある。(通過率42.2%)</p> <p>◎零度より低い時の温度計の目盛りの読み取りに課題がある。(通過率53.3%)</p>	<p>◎正午の意味やその時の太陽の位置、かげは太陽の反対にできるということを生活体験を通して理解することが十分でないことが原因と考える。</p> <p>◎「寒い日の朝」という文章を読んでいなかったり、部分を見て全体を見ていなかったりすることが原因と考える。</p>	<p>◎方位磁針の正しい使い方を繰り返し行い技能を定着させる。低学年の生活科や他の教科の学習の中で、「太陽とかげ」を意識した体験をさせることでかげの向きを理解させる。</p> <p>◎問題を解くキーワード（理科の用語等）を授業に取り入れ、問題解決型の学習の中で予想させたり考察させたりする。全体と部分が見えやすくするために拡大図（書画カメラ等）を活用し、目盛りを読み取る力をつける。</p>

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
実施スケジュール	PLAN 課題把握 授業改善計画作成	DO 授業改善実施 授業研究		CHECK 4年5年 単元テスト	「基礎・基本」定着状況調査、(4年) 福山市調査問題 CRTテスト	「全国学力・学習状況調査」(5年) 福山市調査問題	PLAN ACTION 課題把握 授業改善計画作成	ACTION 授業改善実施		

検証	○時期：平成26年12月 27年 1月 2月 ○方法：単元テスト（4年5年）「基礎・基本」定着状況調査、(4年)「全国学力・学習状況調査」(5年) 福山市調査問題 ○目標：通過率80%以上 ○結果：
-----------	---

(1) 生活・学習

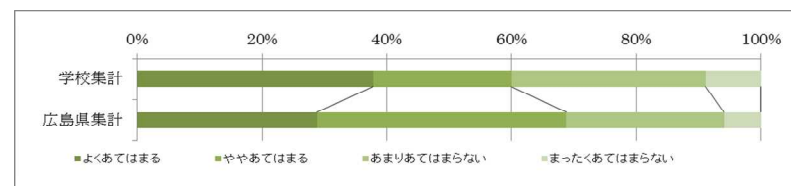


児童の回答についての課題（現状値） ◎「基礎・基本」◇全国学力	課題改善のための日常的な取組み
◎自分の考えや意見を、具体的な例をあげながら順序に気を付けて話している児童が少ない。(66.7%) ◇難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しようとする児童が少ない。(33.3%)	◎順序を表す言葉を押さえ、各授業で自分の考えを発表するとき経験したことなどから具体的な例を挙げながら話す活動を充実させる。 ◇学習発表会などたくさんの人の前で発表する機会を設け、達成感を味わえるようにする。また児童にほめる言葉をかけ自信をもたせるようにする。

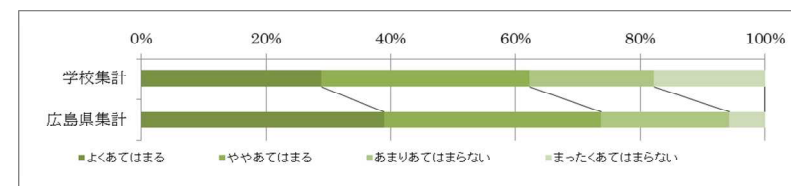
検証	○時期：2月 ○目標：80%	○方法：児童アンケート ○結果：
-----------	-------------------	---------------------

(2) 教科

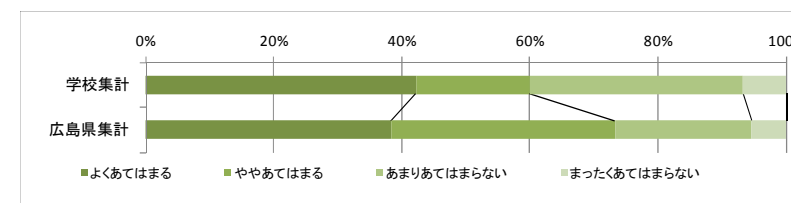
国語の授業で、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。



算数の授業では、とき方や考え方を絵や図などに表して考えます。



理科の授業では、自分の考えや予想をもとに観察や実験の計画を立てています。



	児童の回答についての課題（現状値） ◎「基礎・基本」◇全国学力	課題改善のための日常的な取組み
国語	◎国語の授業で、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている児童が少ない。(60.0%) ◇国語の授業で意見などを発表するときに、うまく伝わる話の組み立てを工夫している児童が少ない。(28.9%)	◎自分が学びたいことなどを明確にさせて資料を選び、そこから自分の考えを深めたり広げたりしながら自分の考えをまとめさせる。 ◇誰に伝えるかを明確にしたり、話形を掲示したりすることで、話の組み立て方を定着させる。
算数	◎算数の授業では、とき方や考え方を絵や図などに表して考えている児童が少ない。(62.2%) ◇算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解しようとする児童が少ない。(53.5%)	◎図や絵をもとに自分の考えを説明する場を設定する。また、図や絵と式を比べたり、関連させたりしながら考えさせる。 ◇公式を学習するときには、算数的活動を積極的に取り入れ、体験的に理解できるようにしていく。
理科	◎理科の授業では、自分の考えや予想をもとに観察や実験の計画を立てている児童が少ない。(60.0%)	◎観察や実験の前には、生活体験や既習事項から予想を立てさせ、それをもとに観察や実験の計画を立てる活動を設ける。

検証	○時期：2月 ○目標：80%	○方法：児童アンケート ○結果：
-----------	-------------------	---------------------